

# 決算公告

第18期

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

株式会社 イージェーワークス

# 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	2,113,329	流動負債	330,920
現金及び預金	1,772,650	買掛金	165,618
売掛金	299,931	未払金	30,738
仕掛品	228	未払費用	11,598
貯蔵品	5	前受金	27,338
前払費用	26,953	預り金	6,664
未収入金	8,883	未払法人税等	56,323
立替金	331	未払消費税等	18,895
仮払金	52	未払事業税	13,060
繰延税金資産	4,601	リース債務	681
貸倒引当金	△ 308	固定負債	7,411
固定資産	253,972	長期未払金	5,309
有形固定資産	57,237	長期リース債務	2,101
建物	15,822	負債合計	338,332
工具器具備品	38,837	純 資 産 の 部	
建設仮勘定	2,577	株主資本	2,028,970
無形固定資産	162,877	資本金	211,068
ソフトウェア	160,157	資本剰余金	132,132
ソフトウェア仮勘定	2,720	資本準備金	132,132
投資その他の資産	33,858	利益剰余金	1,685,770
敷金	17,841	利益準備金	5,687
長期前払費用	10,541	その他利益剰余金	1,680,082
長期未収入金	2,749	繰越利益剰余金	1,680,082
繰延税金資産	5,474	(うち、当期純利益)	( 285,715 )
貸倒引当金	△ 2,749	純資産合計	2,028,970
資産合計	2,367,302	負債・純資産合計	2,367,302

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### 仕掛品

個別法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

#### (2) 固定資産の減価償却方法

##### 有形固定資産(リース資産を除く)

##### ① 定率法(②を除く)

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 3年～18年

工具器具備品 4年～20年

##### ② 定額法(平成28年4月以降取得の建物)

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 8年～15年

##### 無形固定資産(リース資産を除く)

##### 定額法

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)によっております。

#### (3) 引当金の計上基準

##### 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### (4) その他計算書類の作成のための基本となる事項

##### 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。